

回 覧

令和4年度の新区長始め連区役員が 豊川市長へ表敬訪問を行いました。

桜町連区だより

第9号



去る四月十九日(火)連区三役と各町内の区長など計八名で市長を表敬訪問しました。最初に各区長から自己紹介を行い、市長からはイオン進出に伴う関連予算として、今年度は約6億6千万円をかけて緊急車両に配慮した道路整備に充てるなどの説明がありました。また、コロナ感染予防対策について、市の3回目の接種率は42パーセントを終えているが、今後も接種がスムーズに進められるよう努めていく旨の説明がありました。

連区長からは、市長の取組みに際し感謝の意を述べるとともに、イオンオープン後は多々問題が発生すると思うが、桜町連区だけではなく八南、代田を併せた三連区合同で対応していく予定であり。特に、青少年健全育成の点からもオープン後は三連区とイオン担当者で2〜3カ月に1回のペースで店内を巡回して青少年を見守っていくことについて、市からもバックアップをしていただくよう要請しました。また、区長からの意見として西古瀬川、白川、佐奈川の堆積土砂の撤去等の河川整備を県へ要望していただきたいことをお願いしました。なお、これについては後日連区として改めて要望書を提出することとしました。

消防団の早期訓練開催

去る四月二十四日(日)午前六時より、豊川市消防団第四方面隊の早期訓練が来賓はじめ各方面隊、各連区役員、各消防団OB約一五〇名が参加して西明寺幼稚園で開催されました。訓練は所属の3分団(国府、御

油、桜町)の消防自動車が出動し、桜町分団(小林大輔分団長)をはじめ、それぞれが機敏な動きで放水消火訓練を行いました。豊川市西消防署長等の講評後、来賓からは、コロナ禍でありながら見事な訓練への評価と日頃の感謝が述べられ、最後に鈴木連区長の「火の用心三唱」で終了しました。



イオンモール検討委員会の状況について

平成29年に発足したイオンモール検討委員会は、令和4年4月22日に開催された「全体会」で第18回を迎えました。そのほか、下部組織の「専門部会」は23回開催しています。また、三重県津南店、長野県松本店の先進地視察を行って情報収集に努めています。

